

【アリアドネーの導き】

「我が行いは、賢者の石を作る法にあらず。

生み出さんと欲するものは“植物性の黄金”

であり、“純金薬液”なり」



偉大なる錬金術の探求者であり
友である親愛なるジョンへ

大自然の持つ奇跡の正体を知るべく、
私はあなたが待つプラハを目指し
ここまでやってきましたが、

どうやら私の旅はここで
終わりを迎えることになりそうです。

宿の入り口は兵に閉ざされ、
もうすぐ教会の人々が
群衆を率いて私を捕らえに
来ると知らされました。

約束の地であなたと再会し、
共に学んだ叡智を合わせて
真に至ろうとの約束を守れず、
先に逝くことをお許してください。

半ばではありますが、
これまでの旅で私が入手した
知恵をまとめあげ、

「アリアドネーの導き」

と称した、旅の手記を同封します。

完成には至りませんでした、
薬草が持つ“生命の錬金術”の
秘密を解くカギとなる筈です。

この知識は、ロウソクの炎。

ロウソクの炎を他のロウソクに
与えたとしても、その炎は
失われることも減ることも
ありません。

1つの炎が、2つに増える。

与えると、増える。

この知識の炎は、
10人に与えても
100人に与えても
失うことはありません。

与えても与えても、
その本質は更に力を増して
永遠に自分の中に残ります。

知識とは、素晴らしい
宝物だとしみじみ思います。

与えれば与えるほど光は増え、
世の中を明るく変えながら
広がって行くのですから。

ジョン、親愛なるジョン。

あなたに、友として
私から最後のお願いがあります。

どうか、私の後を受け継いで...

この知識の炎を求め、望む人々に
受け継ぎ、希望の光をあまねく
伝えてはいただけないでしょうか。

私と同じ想いを抱き、

真の錬金の道を進まんと
真理探究の学びを深める
若き芽を見つけ出し、

「アリアドネーの導き」

の知識を与える者として、
私が叶えられなかった願いを
叶えてはいただけないでしょうか。

もしあなたが、この想いを
引き継いでいただけるのであれば、
これ以上の幸せはありません。

私はこの旅で、多くの人々が
病に苦しみ、術を知らぬまま
もっと生きられた筈の命を
失うのを見ました。

また、薬草の処方によって
生命を吹き返した人の笑顔...

その家族が涙を流して
喜ぶ様を見て、心打たれました。

ああ、生きていて良かった。

生まれてきて良かった。

新しい笑顔と出会う度に
私の心は激しく揺り動かされ、
生きていることを感じました。

生まれた城に閉じ込められ、
気位だけが低い一族に囲まれ
生きていた頃には、一度も
感じたことのない幸せを、

“生きているという感覚”
を、私は手に入れました。

いくつもの出会いを重ね、
それと同じだけの別れを経て...

私は、生きていることの
価値と命について、毎日
考えるようになりました。

この命で何ができるのか？
この人生で何をすべきか？

その答えは、なかなか
見つかりませんでした...

この最後の瞬間になって、
今ようやく、ほんの少しだけ
わかったような気がします。

ジョン、残念ですが、
ここでお別れです。

楽しい時間を、ありがとう。

私の肉体はこの世から消えても、
この魂はずっと、共に進んだ

あなたと一緒に生きるでしょう。

そして、私が人生の旅で学び、
手に入れたこの知識は、
私がこの世に生きた証として
永遠に残るでしょう。

ジョン、私がこの世に生きて
あなたと共に錬金の道を進んだ
その証として、どうかこの書を
後の世に伝えてください。

わがままを言って申し訳
ありませんが、どうか私の
最後のお願いだと思って
聞き届けていただければ幸いです。

信頼するあなたが私の意思を
受け継いでくれるのであれば、

私は心置きなく、微笑みながら
神に召されてゆくでしょう。

私がこの世に残した知識を、
どうか後に続く若き芽の
育成にお使ください。

そして、どうかいつまでも
お元気で。

愛をもって
キャサリン・メルクリウス

=====

眠っている感覚の覚醒

=====

人は本来、

「目に見えないものを見て、
目に見えないものを感じる」

という力を持っていました。

「物事を感じる力」

「自分の体の変化や状態を
敏感に感じ取る力」

が麻痺したまま生きている
現代人よりも、その感覚は
遥かに優れていたのです。

古来のヒーラーは皆、
この感覚を以て薬草を煎じ、
治癒の技を施してきました。

それに対して、現代医学は
その逆を行ったのです。

確かに高性能の機械によって、
人体の様子が数値科して

見えるようになったり、

昔はわからなかった症状の
原因や正体も、レントゲンで
見えるようになって、技術は
著しく発達しました。

けれども、その弊害として…

施術をする側の人間の感覚は、
極端に鈍ってしまったのです。

数字やデータだけを見て

「目の前の患者を“見ない”」
「患者の心の状態が見えない」
「微妙な体の変化が読めない」

という医者が大半を占め、

「先生、1ヶ月ほどずっと
左脇腹が痛いんですが…」

「いや、検査では何も異常は
なかったのですよ。
どうぞお大事に…」

と、データが書かれた
画面を見ながら、患者と
目も合わせずに表面的な発言を
繰り返すだけになったのです。

「体の発しているサインを
見抜く能力を持たない、
数字やデータだけに頼って
本質の見えない人間」

が、人々の健康を判断し、
指示するようになった…と。

こう言った方が解る人も、
いるかもしれません。

殿が知る、昔ながらの
自然療法を受け継いで
日々実践する人々の中には、

「触れただけで内臓のずれが
わかる達人」

であるとか、

「黒目の部分を見るだけで、
内臓の弱い箇所がわかる達人」

とか、とにかくいろいろな
びっくり人間が多いのですが…

彼らは、殿の質問に対して
決まって最後に、

「まるで、打ち合わせでも
したかの如く同じように」

口を揃えて言うのです。

「ああ、訓練さえ積みば
誰にもできますよ。

だって、これは元々人間が
持っている能力なのですから」

…と。

そう、こういった能力は生まれつき、
あなたの中にも眠っているのです。

ただ、そこに意識を向けて
活用しなければ、その能力は
眠ったまま、発揮されず終わります。

あなたが生まれもって
兼ね備えている、

「超常現象レベルの能力」

を覚醒に導き、引き出して
日常生活の中で活用するには…

「知って、意識して、
注意を向けること」

が必要です。

これを理解すれば、それぞれの
偉大な薬草が持つ魔術的とも言える

様々な力を引き出し、活用できます。

古来より薬草は、様々な儀式と組み合わせて使われて来ました。

一般的には、ただの迷信だと言われる風習も多いのですが、殿がリサーチをして行く中で気付いた効果が1つあります。

それは、

「そのハーブの性質や働き、
効果を知って飲む人と
何も知らずに飲む人では、
得られる効果が“倍以上”違う」

ということでした。

…とは言っても、これだけでは何のことか解らないと思うので、

「精神的な面」
「現実的な面」

の2つの視点からお話しましょう。

まずは、

「精神的な面」

から説明します。

日本各地には、昔から様々な

「神社」

があります。

多くの会社や文化が生まれては
消えていく、めまぐるしい世の中で…

今もなお、神社が日本各地に残って
信仰の対象になっている理由は、
とてもシンプルに言うと

「それだけ恩恵を受けたり、
結果が出た人が多いから」

です。

けれども、殿が住む京都に
無数にある神社の中でも、

「ここは願いが叶う!!」

と噂に高く、平日であろうが
観光シーズン以外であろうが
常に参拝者が絶えない、
京都祇園の近くにある

「地主神社」

という神社もあれば、
節分の祭りの時以外は

非常に静かなことが多い、
京都大学の傍にある

「吉田神社」

という神社もあるように、
人気や評判は様々です。

では、この2つの神社は、
一体何がどう違うのか…？

まずは、2つの神社の
ホームページをご覧ください。

地主神社

<http://www.jishujinja.or.jp>

吉田神社

<http://www.yoshidajinja.com>

。。。

そうです。

一瞬でわかった人も
いるとは思いますが、

**「地主神社の方は、一目見て
どんなご加護があるか明確」**

なのです。

恋の願いを叶えたい人が、
恋の願いを叶える為に
恋の願いを叶えてくれる
神様にお参りに行く。

武道やスポーツで言えば、

**「心、技、体が1つに
なっている状態」**

と同じですよ、と言うと
あまりにも大げさでしょうが…

なんとなく、頑丈な柱が
どっしりと立っているような、
一本通ったイメージが湧けば
それでいいかと思います。

そう、お気づきのように…

。。。

…と、こんな感じで
63 ページまで続きます。